

平成 30 年度「津波防災の日」スペシャルイベント
最新科学×津波×地域防災

アンケート結果



内閣府 (防災担当)

I. 回収状況

配布数：363※

回収数：203（55.9%）

有効回答数：203（100%）

II. 回答

■ 問 1：このイベントに参加されてあなたの防災意識は向上しましたか。

回答	回答数	割合
向上した	112	55%
少し向上した	78	38%
あまり向上しなかった・向上しなかった	4	2%
無回答	9	5%
総計 (n)	203	100%

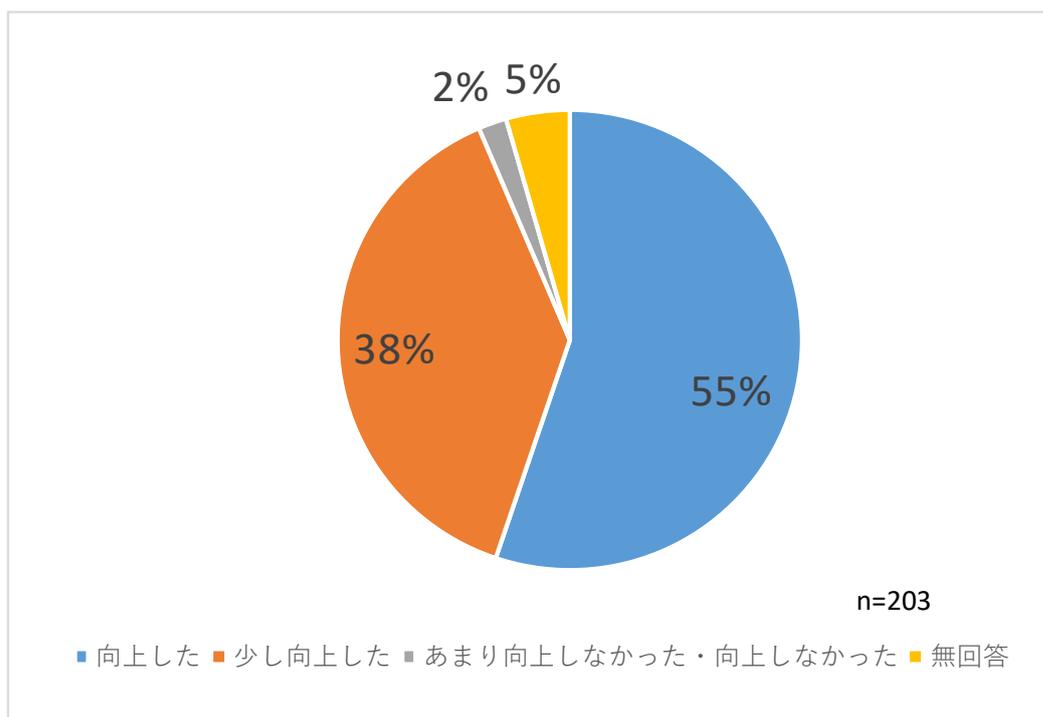


図 1 防災意識は向上したか

■問2：あなたがこのイベントを通じて学びたかったことは何ですか。（複数回答）

選択肢	回答数	割合
地区防災計画	117	58%
自治体の津波対策	100	49%
津波に関する最先端の科学知識	91	45%
企業の津波防災	60	30%
国の津波対策	37	18%
学校の津波防災	26	13%
その他	9	4%
無回答	5	2%
総計 (n)	203	-

【その他(9)の詳細】	〈その他〉
〈地区〉 <ul style="list-style-type: none"> ・他地区での津波対策 ・他地区での取り組みの手段とツールの色々 ・地区の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の技法 ・住民認識の津波防災対策 ・他の市町の防災対策
〈ツール〉 <ul style="list-style-type: none"> ・東北大学のリアルタイム津波シミュレーション ・川崎市の防災対策、最新シミュレーション検討状況 ・スマホアプリ 	

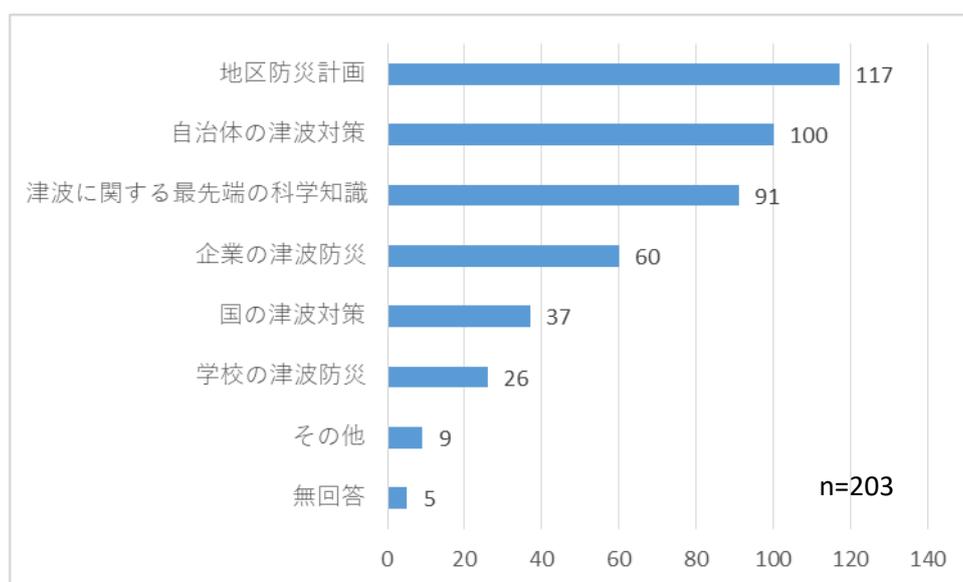


図2 イベントを通じて知りたかったこと

■ 問3：あなたがこのイベントを踏まえて今後実践したいことを教えてください。（複数回答）

選択肢	回答数	割合
地区防災計画について学習	105	52%
地元で行われている地区防災計画の取組に参加	61	30%
食料品や日用品の備蓄	48	24%
津波避難訓練に参加	44	22%
地元で地区防災計画の取組を立ち上げ	28	14%
その他	25	12%
特になし	4	2%
無回答	5	2%
総計 (n)	203	-

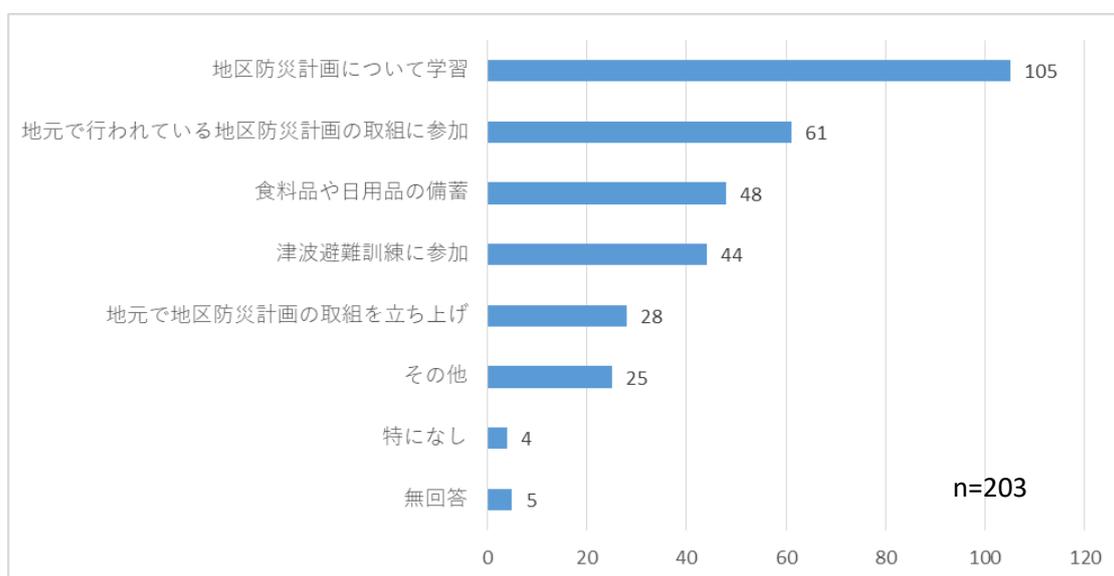


図3 今後実践したいこと

【その他(25)の詳細】

〈教育に関する記述〉(5)

- ・中学校での防災教育と避難計画の充実
- ・地域で津波に関する防災教育に活用
- ・学校防災教育への転用
- ・今後の防災教育のあり方について検討したい
- ・DIG、ダイレクトゲーム等防災教育イベントの習熟

〈訓練に関する記述〉(4)

- ・防災訓練の充実/出展の防災普及協会、神戸市消防局、子ども安全まちづくりパートナーズの資料、取組を参考とします。
- ・防災訓練の企画
- ・自社での訓練の再検討、見直し
- ・工場での防災訓練の見直し、実施(逃げないを考えたい。)

〈ツールに関する記述〉(3)

- ・紹介されていたゲームやマップ作り、アプリなどの活用
- ・逃げトレアプリ、ダイレクトロードの活用・周知、ガイドやライフセーバー向けの防災研修
- ・スマホ・アプリの動向

〈自助の実践に関する記述〉(2)

- ・自助協力の防災具
- ・自己防災の実践

〈その他〉(11)

- ・地域防災に係わるシステム作り
- ・津波防災構想と今後の津波防災の具体化
- ・市取組み、JFE 取組みを参考にさせていただきます。
- ・さらなる津波防災強化(企業としてこれまで以上)
- ・広域避難計画をつくる主体の追求
- ・業務に役立てたい。
- ・企業での防災に役だてたい。
- ・地域防災から広域防災への活動支援
- ・地域における災害医療対策のあり方を検討する。
- ・地元での防災減災対策の参考とさせていただきます。
- ・川崎市の取組み等を参考に大田区の防災対策に反映

■問 4：特に面白かったセッションがありましたらその感想をご記入ください。

【回答者数】(91) ※回答を分類したため、下記の回答数の合計は 130 です。

◆地域における津波防災の取組みと地区防災
計画の役割
〈矢守教授の講演〉(20)
〈各地区の報告〉(36)

◆川崎市の津波防災～企業・地域での最新
科学活用に向けて～(24)

◆パネルディスカッション『地域・企業・学校における
これからの津波防災』(16)

◆イベント全般(32)

◆その他 (2)

問4感想（自由記述）

分類	記述内容
地域における津波防災の取組みと地区防災計画の役割	
矢守教授講演	矢守先生のお話。具体的で大変面白かったです。参考になりました。
	「地域における津波防災の取組みと地区防災計画の役割」における矢守教授の話が参考になった。
	矢守教授の講演で業務に役立てられる話が多く参考になりました。
	"逃げトレ"を試してみたいと思います。
	無関心の方をいかに取り込んでいくか。「防災ゲーム」などアプリがあることを初めて知った。
	逃げトレアプリの紹介。もう1度トライしたくなる避難訓練というのがよいと思った。また、玄関先までの訓練の重要性も知ることができた。
	小さな地域レベルで使えるICTツール「逃げトレ」の活用の可能性に興味ありです。
	逃げトレアプリの活用が興味深い。「玄関まで自主避難して笛を吹く」のは面白い。
	「逃げトレ」アプリを活用した地域での防災の取組み。
	矢守先生の「逃げトレ」是非やってみたいと思います。→Androidでインストールしてみました。日本全国どの地域でも使えるようにしていただきたいと思いました。
	屋内避難訓練と地区の共助の重要性。
	中高生の災害の取組みと学校が始まったら子供に戻るといふこと。
	中学生と地域の連携。
各地区報告	地区防災がこのように盛んに行われていることを知って驚いた。
	各地区からの報告は地域性など非常に参考になった。
	日本各地で取り組まれている地区防災計画の報告をまとめて聞くことができ、とても勉強になりました。
	地区防災計画の各地での特徴的な取組みを聞いて良かった。
	6地区の防災取組の内容が参考になった。
	各地区の地区防災計画の取組発表。各地区の特性・事情を踏まえた実施内容が参考になった。
	各地区の取組みは、防災が人間を助けるための活動であると改めて感じました。
	各地区からの報告。色んなアイデア・視点、参考になった。
	6地区の取組の発表が一番参考になった。
	各地区の地区防災計画の具体的な取組が直接聞いて大変参考になりました。
	地域防災の意見交流会で業務に役立てられる話が多く参考になりました。
	各地域における報告。最新の各地域の取組が知れてよかった。
	自分達地域と規模、環境が同じ共通する課題に対して取り組んでいる事例発表。
	各地区独自に防災対策を行っている。地域合わせた対策が必要。川崎市も都市型（高層建物の利用等）を考慮した方がよい。
	ウトロの地区の取組み説明は非常に内容的に興味深かった。
	各地域での取組み。特に知床斜里町の取組み。
	静岡県の土肥地区の旅館からの視点の発表・報告はある意味分かりやすく、印象も分かりやすいと思いました。
	土肥地区のようにマイナスの評価をプラスに変えていくことが出来たことはよかった。マンションで耐震化工事した方がマンションの外観が醜くなることに反し、マンションの価値が上がったこととよく似ている。
	土肥地区の前向きな活動はためになる！！
	南足柄のダイレクトロードの感想で自助共助・コミュニケーション、まさに同感である。実際は町内会員外の人でも避難してくると思われる。防災訓練に一度も参加されたことのない人々であり、日頃から計画されている訓練内容を共有していなかった人達であり戸惑うかと思う。
	中島地区の取組み（大学生の地区防災計画への参画）。
6事例は多すぎる。全体として長い。	

川崎市の津波防災	
今村先生が川崎市で行っていただいているシミュレーションのお話が大変参考になりました。	
今村先生の川崎市での津波想定シミュレーションの動画が迫力ありました。	
今村先生 川崎市津波のシミュレーション解析は驚いた。企業も協力すべきと思った。	
避難訓練の人の動きがシミュレーションで良く理解できた。	
シミュレーションが面白かった。	
川崎臨海域での津波避難、避難シミュレーション。	
川崎市避難シミュレーション精度の向上が期待される。	
各種シミュレーション。動画は迫力がある。人々が見られるようオープンにして。	
今村先生の南海トラフのシミュレーション→もっと広く、国民に周知してほしい。	
避難シミュレーションの項目に耐震強度前の建築物が60%位有り、その中には外壁がブロックでできたビルも有り、その係数を入れればデータが変わると思う。	
コンビナート地区に勤務しているため、市としての防災の取組や津波の研究について興味を持った。	
川崎市の津波防災にも興味があったので参考になった。	
ぜひためてみたい、活用が進めば災害は少なくできる。	
川崎市の津波対策が面白かった。	
川崎市の取組みと実験計画。	
パネルディスカッション	
今村先生のお話が面白かった。	
多賀城高校の話。	
パネルディスカッションの加藤さんのコメントが良かった。	
(地域版 BCP) 加藤准教授のお話はとても興味深い。※先生方が消防に期待することは？	
加藤先生の防災まちづくりのお話をもう少しお聴きしたかった。	
JFE の取組などを知ることができた。	
最後のパネルディスカッションが地域と企業の連携を考える上で、参考になった。	
地域における企業の防災の現状を色々な視点から聞くことができた。	
テーマが2つとも興味深かった。※本日はどうもありがとうございました。	
最後のパネルディスカッションも良い話が聞けた。	
専門家のご意見は参考になります。	
企業防災、企業間連携についてもっと深く話を聞きたかった。	
イベント全般	
災害時の企業間連携について、同じ方向で取り組める様、議論が必要であるといったお話を伺い、川崎市に事業所を構える企業として何が出来るか考えたいと思いました。	
企業内でも支援が必要な人がいる。その人のケアが必要だと確信した。	
地区防災計画は地域が違えば異なる視点・考え方が異なってくることがよくわかりました。地域の特長・利点・特性を考慮した計画の必要性を感じました。	
全体を通して、矢守先生のコーディネートがすばらしく、感動しました。	
前半では地域と行政、後半では企業・学校と地域の連携について伺うことができ、それぞれの力を合わせていくことの大切さを改めて感じました。自らの地域において他地域を参考に対策を考え直したいと思います。ありがとうございました。	
逃げるためのさまざまな全国の取り組みが参考になりました。	
どのセッションも示唆に富んだ内容でした。学びの多いセッションでした。内閣府もしっかりバックアップ含め、全体の取りまとめに期待しています。	
「東京湾内だから大丈夫！」というような考えを持っていたが、「避難」というワードを加えると「大変なことになる」ということがわかった。市と研究所の取組みをもっと、もっと広めて貰いたいと感じた。	
様々に異なる事情の下にある様々な地域の取組が一度に分かり有意義でした。	

防災「も」まちづくり、の言葉に感心しました。企業においては防災「も」組織づくり、又は、人づくりになるかと思いました。
各種防災教育ツールを使って、町内会防災訓練を実施したい。本回の講習にあたり先生方そしてスタッフの皆様方、有意義な講習ありがとうございました。今後とも、よろしく申し上げます！！
企業も従業員同志の関係がよくないと災害対応が難しいと感じた。
地区防災計画における若年層の参加・取組について。
風評被害と考える地区とオブラートに包まない地区等地区の特性をどう考えるかがあたり前だが重要。
人の命を守る津波避難訓練、地域防災。
最先端の知識。
各地域・企業の概要が中心であったので、次回は具体的な BCP についてもっと知りたかったです。
意見として企業メインのイベントのように感じました。本来必要とするのは地元住民の方でもあると思うので、住民の方々がもう少し参加できる様に広めるべき。
川崎市 国交省への要望。今回は地域や事業所での取組が中心でしたが、勤務先の中学校は産業道路沿いにあります。首都高や産業道路を通る危険物を積載した車が地震や津波で破損し、有害物質が流出したり、火災・爆発が起きたら…と創造するとゾッとします。ぜひ、そうした車輛等に対する耐震対策も充実させてほしいと思います。（合わせて、ドライバーへの教育の徹底、モラル向上もお願いしたいと思います。）
もう少し「行政とのかかわり」や「学校とのかかわり」が明確にされるとよかったです。
東大の目黒教授のお姿があったので、先生のお話も聴講したかったです。

※項目のみで詳細の記載がないものは省略しています。

(参考) 回答者属性

(1) 性別

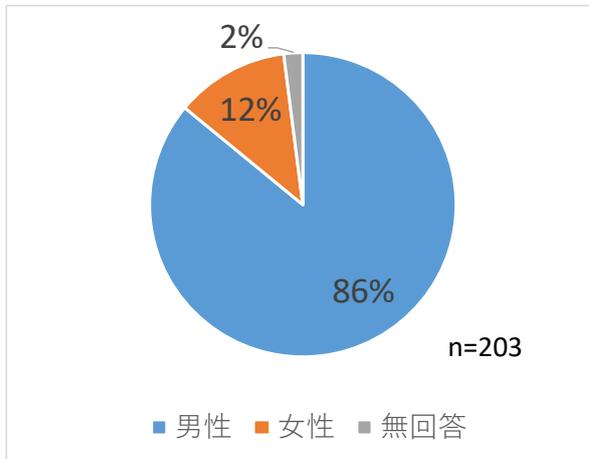


図4 性別

性別	回答数	割合
男性	174	86%
女性	24	12%
無回答	5	2%
総計 (n)	203	100%

(2) 年齢 (年代)

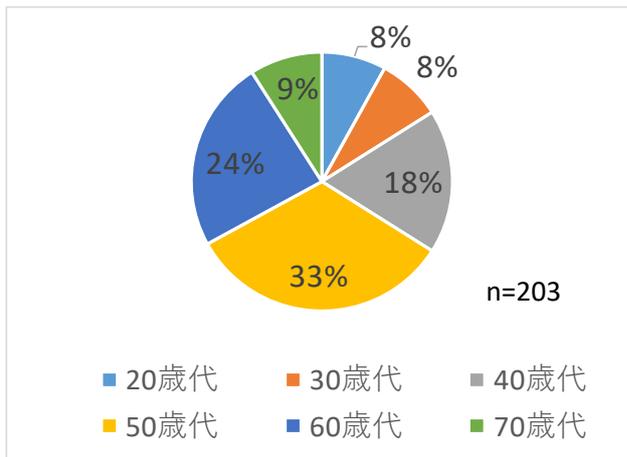


図5 年齢 (年代)

年代	回答数	割合
20 歳代	16	8%
30 歳代	17	8%
40 歳代	36	18%
50 歳代	67	33%
60 歳代	48	24%
70 歳代	19	9%
総計 (n)	203	100%

(3) 所属分類

所属分類	回答数	割合	参加者	回収率
民間企業	91	45%	143	64%
行政機関	45	22%	84	54%
自主防災組織（町内会等含む）	28	14%	30	93%
研究機関・大学（学生）	12	6%	33	36%
団体	10	5%	57	18%
その他一般	9	4%	7	100%
メディア	2	1%	9	22%
無回答	6	3%	0	0%
総計（n）	203	100%	363	56%

※参加申込時の所属分類とアンケート回答時の所属分類が異なる場合がある。

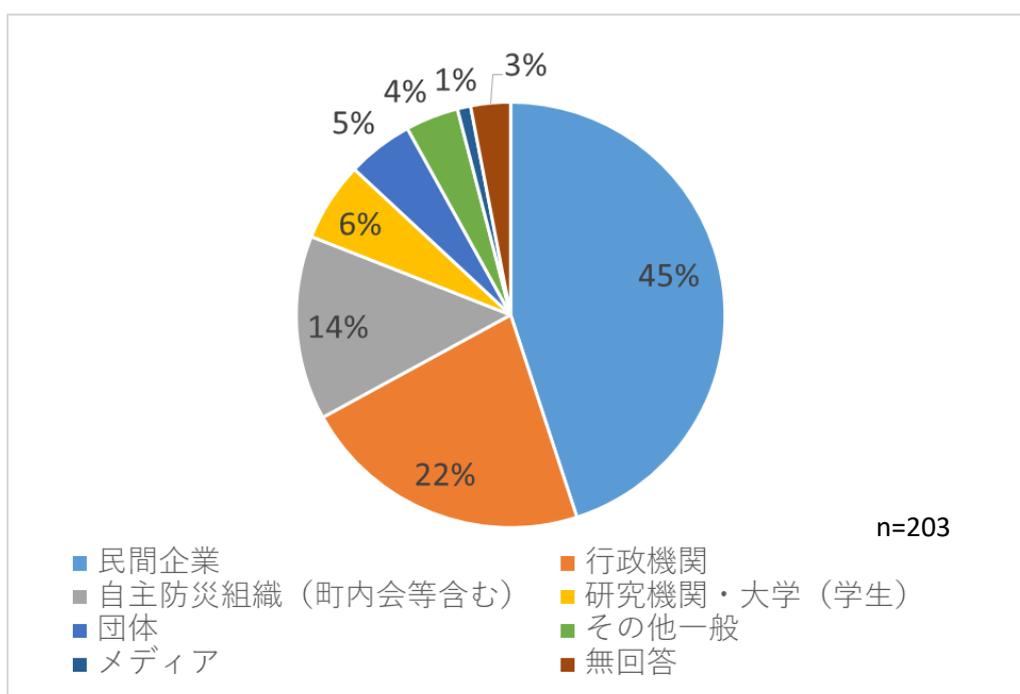
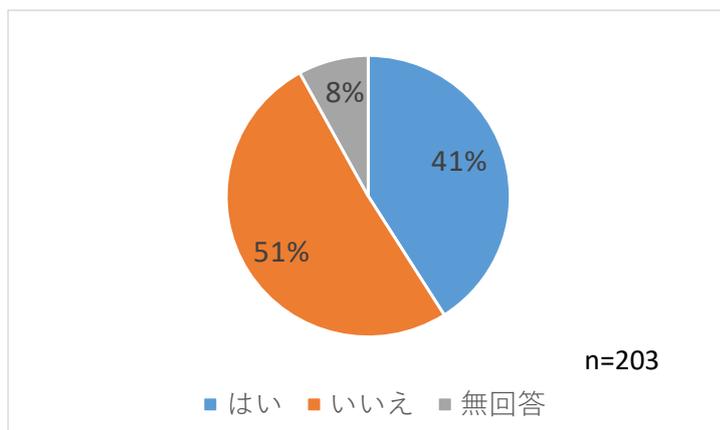


図6 所属分類

(4) 分野（防災専門か）



回答	回答数	割合
はい	84	41%
いいえ	103	51%
無回答	16	8%
総計 (n)	203	100%

図 7 分野（防災専門か）

(5) 居住地

都道府県	市区町村（回答数 2 以上）	回答数	割合
神奈川	川崎市(62)、横浜市(27)、南足柄市(6)、横須賀市(6)、藤沢市(4)、小田原市(3)	116	57%
東京	大田区(9)、品川区(3)、町田市(3)、練馬区(2)、板橋区(2)、港区(2)、多摩市(2)、葛飾区(2)、狛江市(2)、目黒区(2)	39	19%
千葉	千葉市(5)、松戸市(3)	17	8%
北海道	札幌市(4)、斜里町(3)、網走市(2)	9	4%
埼玉	ふじみ野市(2)	5	2%
茨城		3	2%
その他		10	5%
無回答		4	2%
総計 (n)		203	100%

【その他(10)の詳細】

愛媛(2)、静岡(2)、大阪(2)、和歌山(2)、広島(1)、福島(1)

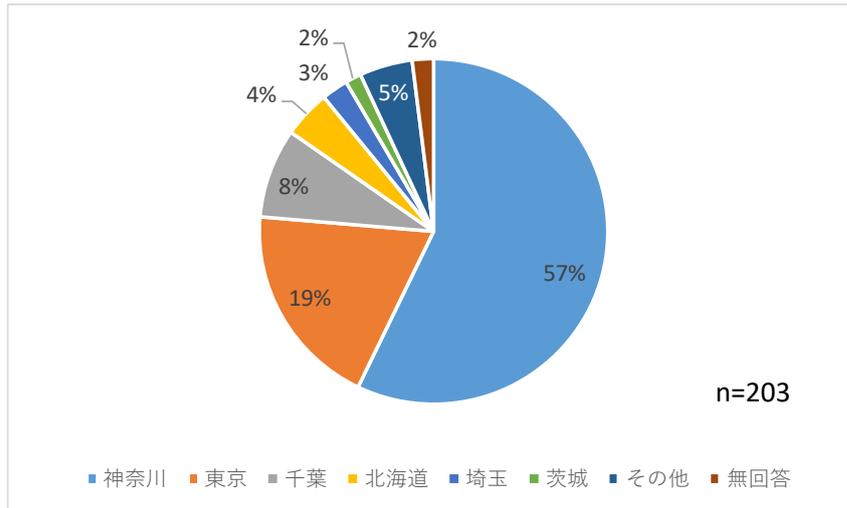


図 8 都道府県別居住地

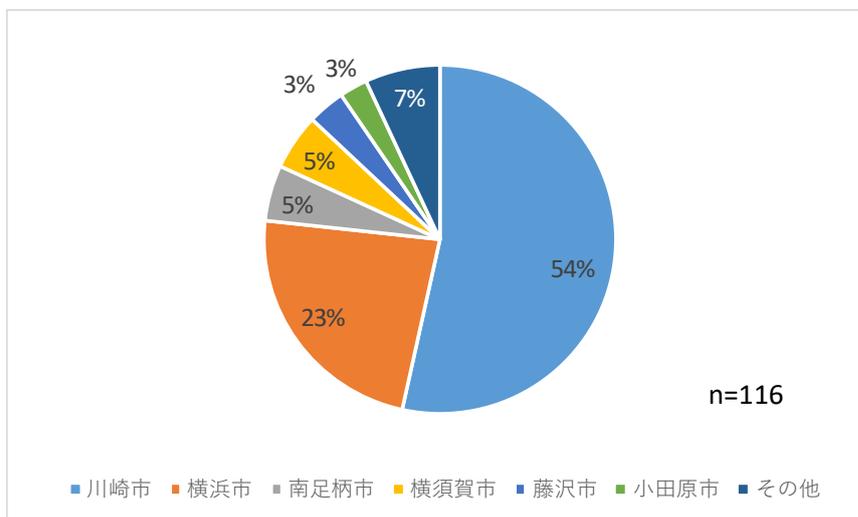


図 9 神奈川県各市町村別居住地

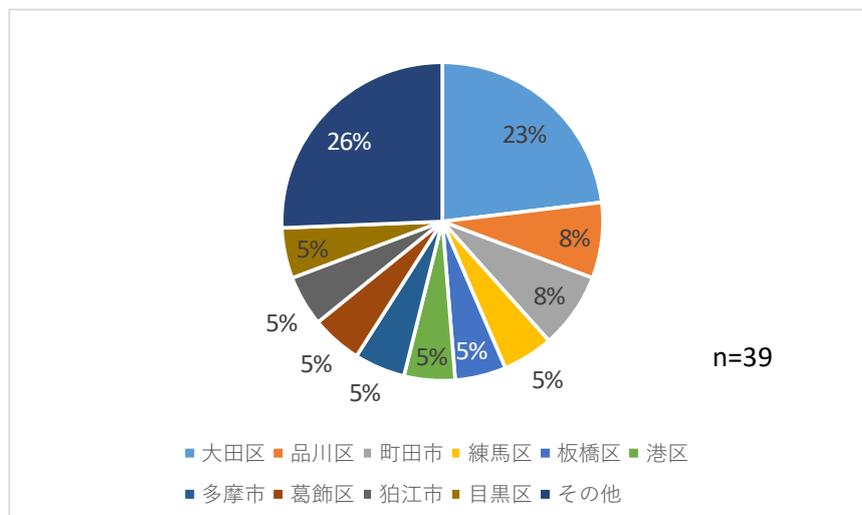


図 10 東京都の市区町村別居住地

(6) 参加理由（複数回答）

選択肢	回答数	割合
仕事に関連がある	122	60%
地区防災計画に関心がある	74	36%
津波対策に関心がある	63	31%
その他	8	4%
無回答	6	3%
総計 (n)	203	-

【その他(8)の詳細】

- ・環境問題の関連で
- ・BCPの一環として
- ・防災動向として
- ・行政を指導している
- ・助かりたい
- ・岩原自治会
- ・町内化防災担当
- ・学校防災

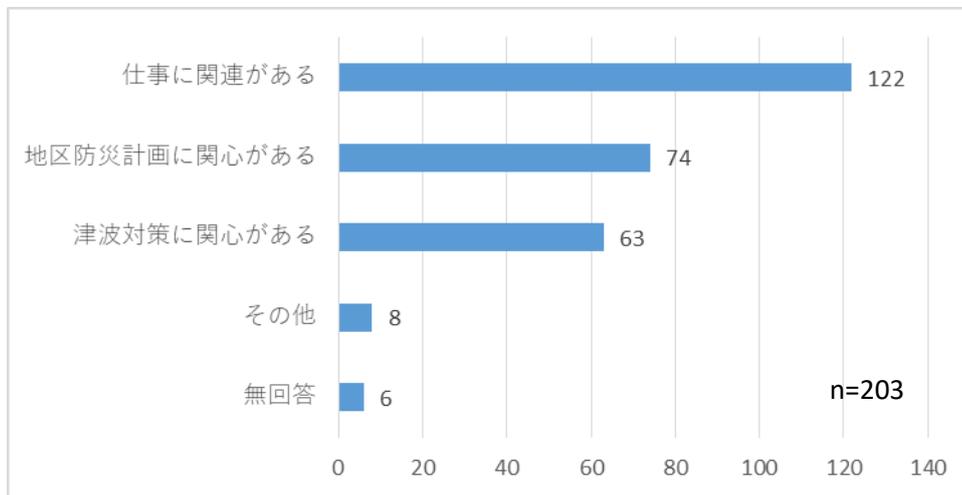


図 11 参加理由

(7) イベントを知ったきっかけ（複数回答）

選択肢	回答数	割合
口コミ	92	45%
チラシ	53	26%
web ニュース	18	9%
ポスター	11	5%
SNS 等	10	5%
新聞	0	0%
その他	7	3%
無回答	25	12%
総計 (n)	203	-

【その他 (7)の詳細】

- ・上記以外の情報媒体
- メール(6)
- 川崎市 HP(1)

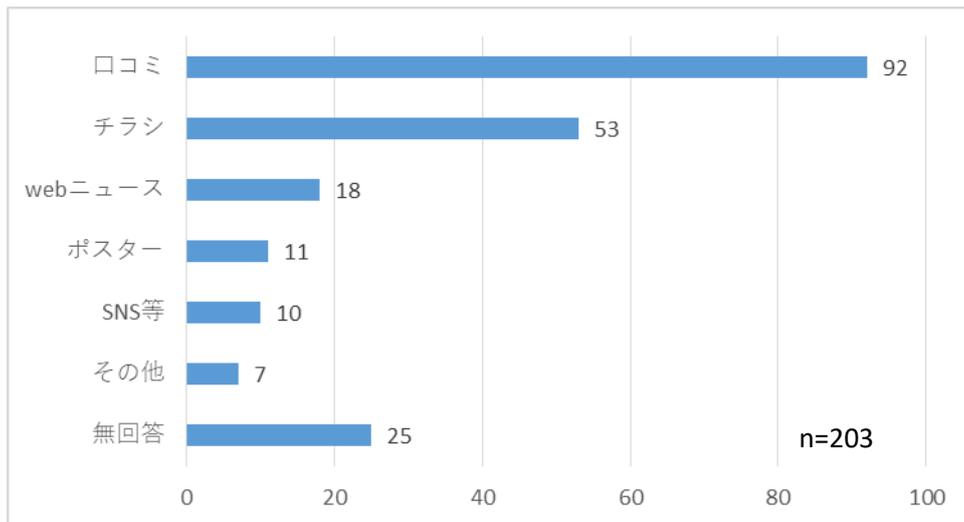


図 12 イベントを知ったきっかけ

以上